

日本メディア学会

第 39 期第 12 回理事会 議事録

日時：2024 年 10 月 26 日（土）12：20～13：00

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者（19 名）：理事＝阿部、音、石田（佐）、植村、烏谷、笹田、鈴木、田中、辻、土橋、福間、松尾、松永、水越、村上、毛利、山口、吉見／ 部会長等＝清水

欠席者（9 名）：理事＝石田（あ）、金平、古賀、藤田、長崎／ 監事＝柴野、吉光／ 部会長等＝治部、津田

事務局出席者（4 名）：杉山、松山、ヴィニットポン、柳

1. 報告事項

1. 一般会務報告

1) 事務局報告

- ・ 秋季大会シンポジウム案のメール審議（承認済）の確認

→確認された。

2) 委員会報告

(1) 企画委員会

→下記審議事項 2 「2025 年度春季大会の開催場所・日程・形態」についての報告があった。

(2) 研究活動委員会

→前回の第 11 回理事会に引き続き、学会研究活動の再編について、部会再編案の「たたき

台」が示された。具体的には、(1) 現状の「研究活動委員会 - 研究部会」という二層構造

を、「研究活動委員会 - 分科会 - プロジェクト」の三層構造とする。(2) 分科会は複数のプロ

ジェクトを統括し、その数は各分科会につき 2～3 程度を目安とする。プロジェクトは必ずし

も固定化されたものではなく、会員からのプロジェクトの起案も受け付ける。(3) 分科会の

数は公募を除き、3～4 つ程度とし、およそ 5 期（10 年）を目安に必要なに応じて見直すこと

を可とする。(4) これをもとに分科会編成案として【案 1】「理論」「社会」「文化」「歴史」

「ジェンダー・ダイバシティ」+ α （＝ディシプリンや研究手法にゆるやかに基づきながら、

分科会を編成する案）、【案 2】「メディア」「ジャーナリズム」「コミュニケーション」「ジェン

ダー・ダイバシティ」+ α (=学会規約に規定された学会活動内容に合わせ、分科会を編成する案) の2案が示された。(5) 各プロジェクトは、WSを年に1回、研究会を年に2回ほどの開催を目安とする。以上、研究活動委員会から示された「たたき台」をもとに、最終的な審議を第13回理事会にて行うことを確認した。

(3) 編集委員会

→とくになし

(4) 国際委員会

→とくになし

(5) その他

→とくになし

2. その他

→とくになし

2. 審議事項

1. 第39期第11回理事会議事録(案)について(総務担当)

→承認された。

2. 2025年度春季大会の開催場所・日程・形態について(企画委員会)

→2025年6月に立命館大学にて対面開催となったことが承認された。なお、会場校の都合から、開催日時については決まり次第告知するものとし、先に発表募集を行うことを合意した。

3. 論文の転載許可について(編集委員会)

→3件の論文転載依頼について、承認された。

4. 第10回内川芳美記念メディア学会賞にかかる選考委員会および推薦委員会の設置について(執行部)

→選考委員会および推薦委員会それぞれ承認された。

5. 第40期理事選挙にかかる選挙管理委員会の設置について(執行部)

→承認された。

6. 会員の入退会について 入会希望者6名/退会希望者4名

→承認された。

7. その他

→水越会長より、2024年度春季大会総会にて示した「日本メディア学会第39期今後の活動方針」についての進捗報告があった。これまで第39期において「理事選挙のオンライン化」「財務体制の見直し」などが認められ、現在、「研究部会のあり方見直し」などが進行中であることをあらためて確認した。今後、「ダイバーシティ宣言」「賛助会員のあり方見直し」「学会誌編集・査読体制の改革」などを進めていくことが共有された。

今後の理事会日程

- 第13回 2025年1月11日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)
- 第14回 2025年3月8日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)
- 第15回 2025年5月17日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)
- 第16回 春季大会当日(対面開催)